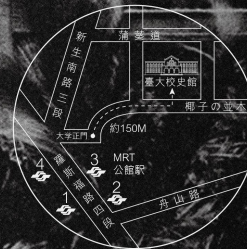


日本館



参観情報

アクセス：台湾大学本部キャンパスの正門から入り、椰子並木を左側に沿って150メートル歩いたところ。

開館時間：月曜日から日曜日 午前9時から午後5時まで
(火曜日、祝日は閉館)

電話：886-2-33663818

メール：historygallery@ntu.edu.tw

住所：台北市羅斯福路四段一号

公式サイト：www.lib.ntu.edu.tw/gallery/home.htm

Facebook：www.facebook.com/NTU.HistoricalGallery

入場無料 お気軽に御参観ください。

2020.01

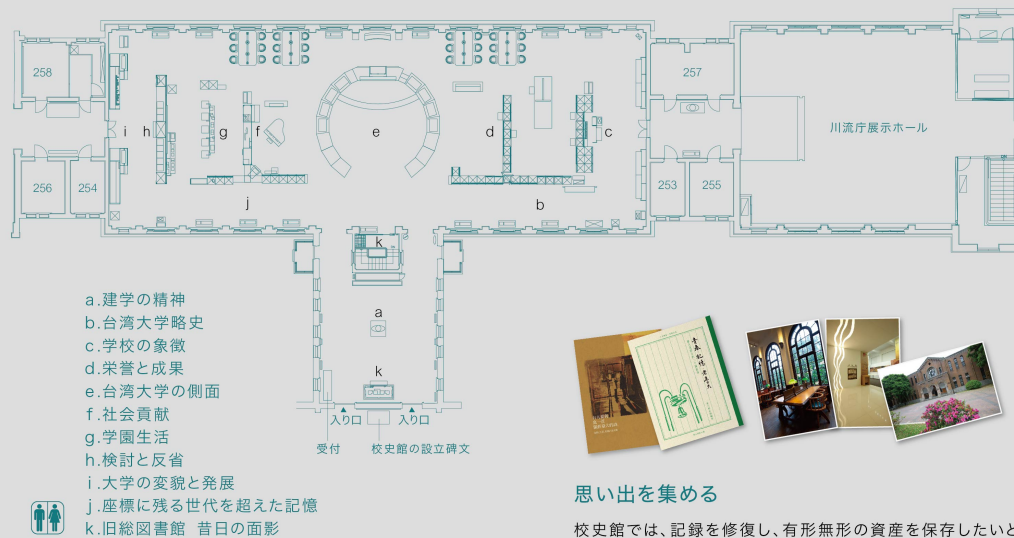
校史館歴史

台湾大学の前身は日本統治時代の1928年3月17日に創立された台北帝国大学で、当時は台湾で唯一の大学でした。1945年の第二次世界大戦が終わり、11月15日に羅宗洛氏が教育部の指示により、国民政府を代表として、台北帝国大学を引き継ぎ、国立台湾大学へと改制しました。それから、1998年11月、総図書館1階の一角に台湾大学の歴史品を展示開始。2004年5月に、陳維昭学長は台湾大学の歴史を見ることで台湾社会の発展を理解することができると思うから、歴史展示の拡張を指示しました。

校史館常設展示ホールは旧総図書館の2階中央閲覧室にあります。旧総図書館は1929年に創設され、現在までに5回増築が行われています。1998年の夏に、図書館は新しい場所に移転し、建物は文学院として利用されるようになりました。同時に台北市の古蹟に認定され、中央閲覧室は「古蹟劇場」へ変わり、戯劇学科の実習に使用されています。

2004年5月から1年かけて総務部は古蹟と電気設備の修復を担当、図書館は校史館展示の企画とデザインを担当しました。出版部は「校史稿（校史館の歴史）」を編集し出版しました。2005年6月22日に、陳維昭学長が開館式を行いました。10月初めに李嗣浚学長は図書館が校史館を運営することを指示しました。校史館は11月7日から観覧者へ公開し、ガイド付きツアーを提供しました。

2007年の春、校史館の東側2階に薬学系の卒業生・李華林氏の川流基金会の寄付のもと特別展庁が寄贈されました。李氏の台湾大学への慈しみを込め、また、川の流れのように途切れることなく多くの参加者が訪れることを願い「川流庁」と名づけられ、同年11月15日に除幕式が行われました。



1F 2F展示ホール配置図

校史館の常設展の面積は745㎡、川流庁は約302㎡です。校史館は、常設展や特別展の企画、保護、ガイドツアーに加えて、台湾大学の歴史文化遺産の収集、思い出の募集、普及活動を行っています。図書館学校史資料や総務部で管理されている公文書に加えて、さまざまな記録や歴史を保存しています。



思い出を集める

校史館では、記録を修復し、有形無形の資産を保存したいと思っています。もし台湾大学の古写真や古い文化財、過ぎ去った時間や学生生活などシェアしたいものがあればお気軽に校史館までご連絡ください。校史館に集まった古写真や興味深い物語を集めて編集し、2冊の本を出版しました。《青春・記憶・老台大：台湾大学の古写真の20のストーリー》、《私の書いた台湾大学に関する歌：キャンパス、キャンパスライフ、サークルその他》で、台湾大学出版センターで購入できます。

ガイドツア

校史館は2種類のガイドツアーを提供しております：

- (1) 団体ガイド予約：インターネットオンライン上で申請。ご参観5日前までに登録してください。
- (2) 自動音声ガイドシステム：iOSかAndriodの携帯端末で「臺大博物館群」（校史館含む）音声ガイドアプリをダウンロードしてください。或いはQRcodeをスキャンして、校史館内の音声ガイドを入手してください。

結婚写真

台大人のだけの特別プラン！校史館は台大人の慶事に喜んで立ち会います。校史館で撮影をご希望する台大人新婚カップルは、撮影5日前までにインターネットオンライン上で申し込んでください。（台大人：台湾大学の学生、卒業生、教職員の総称）



iOS音声ガイドアプリダウンロード



Andriod音声ガイドアプリダウンロード

